2024年4月15日発行　第7号
機関誌・内容解説資料

大修館英語通信

What's New!

4
April 2024
No. 7

先生だって日々勉強

特集

先生たちの英語勉強法

特別座談会：「いい授業」を目指して，英語力と授業力をみがこう　村越亮治・柳谷孝一・大石剛…3
朝食を作りながらラジオ講座!?　中島利恵子…6
毎日が学び　細井俊克…8
「Life の精神」で日々研修を！　横田純一…10
［月刊『英語教育』記事・再録］
　紐づけ学習で学びを広げ継続させる　川野泰崇…12
　教師の「勉強」どうしてる？　八木孝之…14

連　載

巻頭エッセイ「わたしの英活」　横田栄司…2
見たかもしれない風景　河西遼…15
SLA 研究にもとづく英語学習の動機づけのすすめ　廣森友人…16
Question Box：英文法の「なぜ」？　朝尾幸次郎…17
教育ニュース ／ ホッと１コマ　あずきみみこ…18
大修館 BOOKSHELF　ジェームス・M・バーダマン／田邉祐司／井出新…19

上のQRコードから
［大修館書店 英語教科書特設サイト］
にアクセスできます。

TAISHUKAN

巻頭エッセイ

わたしの英活

たかが２行，されど２行

横田栄司（俳優）

今までに数えきれない量のセリフを覚えてきました。特に大量のセリフをしゃべることが求められるのが，シェイクスピア劇。稽古前に莫大な時間をかけて黙々と台本を覚えます。暗記に嫌気が差してくるころ，現実逃避的に頭をよぎるのは「英語だとどう言ってるんだ？」ということです。

例えば『ハムレット』におけるホレイシオ（ハムレットの友人）のセリフ。

「だが，見ろ。茜色のマントをまとった朝が，あの東の丘を，露を踏みしめて歩いてくる」（河合祥一郎訳）

要は「朝が来た」ことを２行かけてしゃべるわけですが，覚える側としては困ったもんです。原文はこうです。

“But look, the morn in russet mantle clad
Walks o’er the dew of yon high eastward hill”

どうぞ皆さん，ちらっと声に出して読んでみてください。コツは「タターン，タターン，タターン，タターン，タタン」（１つ目の「タ」を弱く，２つ目の「タ」を強く）のリズムで読むことです。これがシェイクスピアお得意の韻律というやつで，セリフよりは詩に近い感覚です。いかがです？　声に出してみると，なんとも言えず気持ち良く，時空を超え，古(いにしえ)の名優になれた気がしませんか？　ぼくはします（変人？）。

さて，気持ち良く現実逃避ができたところで我に返り，俳優として演じるために，セリフの動機（なぜホレイシオはこんなにレトリックを織り交ぜ「朝が来た」ことを伝えようとするのか？）に興味が移ります。

ぼくが考える理由は２つあります。１つは，ホレイシオは知性と言葉の人であり，その場にいる２人の軍人とは違うキャラクターだと示すため。もう１つは，当時の劇場設備は照明がほとんどなく，「朝が来た」ことを言葉でお客さんに伝えようというシェイクスピアのサービス精神。これらの説を補強してくれたのは，このシーンの稽古での蜷川幸雄さんのダメ出しです。

曰く，「お前ら３人，バラバラな方向に朝日を見てるんじゃないよ。客席のどっちが東かぐらい決めておけよな」，そして「横田，綺麗なセリフなんだから，もっと情緒を持って知的に美しく言ってくれ」。やはり蜷川さんもこの２行で「朝が来た」ことと「ホレイシオは知的」という要素を客席に伝えて欲しかったようです。即座に俳優３人と照明さんで相談し朝日の方向を決めました。問題は「知的」の部分です。これは難しい。頭をひねり，ない知恵を絞り出して工夫した結果，眼鏡を掛けたホレイシオが爆誕しました。

実はかように，俳優がしゃべっているたった２行のセリフの中にも，さまざまな考察や工夫，思い出が詰め込まれていたりするのです。

Profile

横田栄司（よこた　えいじ）

俳優。東京都出身。1994 年文学座研究所入所，1999 年座員に昇格。外部舞台では，蜷川幸雄演出作品に数多く出演。彩の国シェイクスピア・シリーズ，新国立劇場，劇団 AUN などで出演したシェイクスピア作品は 30 作以上を数える。近年テレビドラマ，CM にも活躍の場を広げ，NHK 大河ドラマ『鎌倉殿の 13 人』では 1 年間にわたり和田義盛を好演。2019 年読売演劇大賞・優秀男優賞。2024 年 6 月，文学座公演『オセロー』に出演予定。

文学座　本公演
『オセロー』
６月29日［土］～７月７日［日］
紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA

特別 × 座談会

「いい授業」を目指して，英語力と授業力をみがこう

村越亮治 × 柳谷孝一 × 大石　剛

外国語を教える英語科だからこそ，自分の英語力を維持したり，向上させたりすることを意識している先生は多いのではないでしょうか。日々の授業・指導などに追われて忙しいなかで，授業力だけではなく，自分の英語力を磨くためにはどうしたらよいか。教科書編集委員である村越亮治先生と，村越先生の研修を受け，神奈川県の高校で「いい授業」をめざして活動されている柳谷孝一先生，大石剛先生に，ご自身の取り組みについてお話しいただきました。（聞き手：編集部）

※この座談会は 2024 年１月に行いました。

――まず，先生方が英語力を磨くためにしてこられたことを，学生時代も含めて教えていただけますか。

村越：では私から。私は昭和の終わりに教員になった世代なので，高校・大学ともに「話す・聞く」機会がほぼないまま教員になりました。初任校で ALT（当時は AET）の先生と話して自分の英語がだめだということに気づき，そこからはリスニングに注力して徹底的にやりました。今とは違って音声教材はほぼないなか，「ヒアリングマラソン」という１年間で1000時間，１日およそ３時間くらい徹底的に聞く教材を２周やったら聞けるようになり，表現も身について話せるようになりました。その頃異動で ALT の拠点校に移り，ALT のお世話係のようなものを受けたことで会話力が磨かれました。

柳谷：大学入学後，留学を目標に勉強を始めたことが英語に本格的に取り組んだきっかけです。留学には TOEFL®のスコアが必要なので，その勉強を頑張りました。留学してみると，周囲の話が何も聞き取れず，小さな挫折を味わいましたが，帰るわけにはいかない。１日10時間以上，コメディ番組や CNN のニュースを見続けました。２週間くらい続けると，だんだんと聞き取れるようになり，聞こえるようになったら，話せるようになりました。

教員になってからは，英検１級の勉強などをしていて，その勉強は生徒の語彙習得指導などに役立っています。他には YouTube の「アーサーの英会話」が好きで見ていますが，英語と日本語の字幕がついています

し，相づちの打ち方などはペアワーク指導の参考になっています。

大石：私の英語力の素地は高校です。英語教育に力を入れており，英語が得意な友人が多い環境だったので，自分を過信せず，謙虚に勉強に打ち込めました。大学進学後は留学し，留学中は積極的に英語でコミュニケーションを取ることを心がけました。帰国後に所属したゼミは授業中の会話・卒業論文が英語だったので，留学で身につけたカジュアルな英語とは異なるフォーマルな英語を学べたのはよかったですね。

教員になってからは，校務の傍らで継続できるような勉強として，洋楽を聴いたりドキュメンタリー番組を見たり，また，外国の友人とオンライン通話したりと，楽しみながら英語に触れています。他に，教材研究をする中で時事英語を学んだり，CiNiiで論文を探して読んだりしています。論文は英語の学習と指導方法の研究が同時にできていいと思います。

村越：私たちの時代とは隔世の感がありますね。留学がとてもカジュアルになっているし，今はインターネット上に上質なコンテンツがたくさんあります。インターネット上のコンテンツとしては，動画だけでなく論文を利用することを私も勧めます。今の学生は読む能力が弱い人が多いので，鍛えるためにも。本１冊は大変なので，まずは論文１本から始める，これは学校の先生にも共通ですね。大石先生もおっしゃるように，気になることを調べることでコンテンツに関する知識も身につき，英語の勉強にもなるのでぜひやってみてほしいです。

――教材研究や指導のお話が出ましたが，そちらの勉強についてはいかがですか。

村越：私は25，6歳のころに，ALTの先生と一緒に研究発表するという機会を与えられたのがきっかけで，もっと「プロの授業」がしたいと思うようになりました。まずは県主催の研修に行き始め，もの足りなくなったら県の制度を利用して大学院へ，大学院入試から院生生活を通して指導法について改めて学び始め……という感じですね。

柳谷：私は30歳で受けた県の研修がきっかけで教材研究，指導法の研究に注力し始めました。それまでは自分の直感・肌感覚で授業をしていましたが，研修を通して指導方法や理論を学んで初めて自分の授業力に危機感を覚えたんです。これではだめだと思い，働きながら通うことのできる大学院に行き，第二言語習得を専攻しました。他に，日本語教育の研究者と交流したり，学会に参加したりすることで，英語教育にはない手法を学んだり，英語を教える・学ぶことを目的にせず，手段として考えたりする視点が得られたので，現場から離れたのはよかったですね。

今は「いい授業」をしたいという思いで，英語教育に前向きに取り組む先生方と研究会を開催しています。

――校内では指導法の研究や授業研究などはされていますか。

村越：私が現場にいた頃は，教科会議が時間割の中に位置づけられていたこともありましたが，今は忙しいからそういうのはないですか？

大石：やはり教科担当者で頻繁に集まる時間を作るのは難しいですね。学校規模で何かに取り組むことはできていませんが，学年で授業プリントを統一すると年度初めに決めて，持ち回りでプリントを作って授業を進めています。そうすると，プリントの感想やフィードバック，授業の進め方の提案などを雑談の中でする機会が増えました。学年のまとまりができたし，授業改善にもつながっていると実感しています。

柳谷：私の学校では教科の研修で決

Profile

村越亮治（むらこし りょうじ）
玉川大学文学部准教授

県立高校・短大での勤務を経て，神奈川県立国際言語文化アカデミア講師，神奈川県立総合教育センター指導主事を務めた後，現職。研究分野は英語教育，アクション・リサーチなど。PANORAMA English Communication シリーズの編集委員。

められたものはありませんね。やる気のある先生が多いので，長期休暇の時期に有志で入試研究などをやっています。校長も推奨してくれていますし，若手の取り組みをベテランの先生が見守ってくれる雰囲気がある学校でありがたいです。

村越：校長が推奨してくれるのはいいですね。

柳谷：他に，学校主導で授業見学をし合う機会があります。教科は関係なく割り振られた先生の授業を見学する形で，見学後にフィードバックもある貴重な機会ではありますが，教科が違うと勝手が違うので，アドバイスを生かしにくいこともあります。

大石：校外の研修などでは忌憚のない意見をもらえることが多く，外部で発表するのは正直怖いですが，勉強になりますね。

村越：授業をするためには，いろんな知識を得て理論を学び，自分の使えるカードを増やしておくことが大切ですが，そのカードはそのまま使えるのか，使い方に工夫がいるのか，実際に試さないとわかりません。実践をして，できたこと，できなかったことを蓄積していく，そうやって運用の方法を学ぶのは大切です。そういう学びを得られる授業見学や実践報告になるといいですね。

私は神奈川県の研修で講師をすることがありますが，研修でカバーできることも限界があるので，若手の先生をどう現場で鍛えていくかが今後はさらに重要になってきます。

――柳谷先生，大石先生は研究会を主宰されているということですが，お二人の研究会ではどんなことをされていますか。

柳谷：若手の先生が多いので，悩み相談や困りごとに対応した指導方法などの情報提供，事例共有などをしています。研究授業などを控えた先生へのアドバイスや，研究授業後のフィードバックの内容を共有することもあります。今後は，講師の先生をお招きし，ご指導いただきます。

村越：発表はしない？

柳谷：発表や研究授業などはやっていません。そういうしっかりした研究会も大切ですが，今は，まずは気軽に参加して，何か一つ持ち帰ってもらうくらいの気持ちでいます。

村越：追い追い実践発表，研究授業をやることを検討するといいと思います。若いうちに知識や理論を学んで自分の中に蓄積するのはもちろん，それを実践して経験を積むのも大切ですからね。うちの学校ではこうしたら上手くいきましたといった運用方法を共有することも重要だと思います。

勉強したり，フィードバックをもらったりという機会がなく経験を重ねていくと，授業が上手くいかないことに疑問を持たなくなり，これ以上やることがないと思い込んでしまう先生もいます。でも，生徒は毎年変わります。言葉も変わる。毎年同じでいいということはありえません。

大石：英語は教科書の種類も副教材も多いですよね。ずっと同じ指導法・授業というわけにもいきませんから，勉強を続けるのが大切だと思います。

柳谷：授業数を数えてみると年間400時間くらいあります。勉強していろいろな指導法や授業を試した方がいいなと感じています。

村越：私も先生たちにアドバイスさせていただく機会がありますが，ここまできたのは，自分の生徒に「いい授業」をしたいと思った試行錯誤の繰り返しの結果です。自分の核となる理論も後からついてきます。先生方にはとにかくインプットをたくさんして，それを実践してほしい。生徒のために「いい授業」をすることを目指してほしいです。

――ありがとうございました。

Profile

柳谷孝一（やなぎや こういち）
神奈川県立上溝南高等学校総括教諭

大石　剛（おおいし つよし）
神奈川県立座間高等学校教諭

2021 年に言語教育探究学会を立ち上げ，国語教育と連携し，言語教育に関する研究活動を精力的に行っている。

朝食を作りながらラジオ講座 !?

中島利恵子（なかじま　りえこ）
新島学園中学校・高等学校教諭

はじめに――私の英語学習の原点とは

私の幼い頃の朝は、ラジオから聞こえてくる英語で始まりました。母親が朝食を作りながら、毎日 NHK ラジオの英語講座を聴いていたからです。母はラジオを聴きながら、いつも口でモゴモゴ何かを言っていました。毎日朝食を作るのを休まないのと同様に、NHK ラジオの英語講座を休むことなく聴いていました。夜は、洗濯物を干しながら英語でニュースを観て、そして寝る前には、枕元に電気スタンドをつけて英字新聞を読んでいました。

私の英語学習の原点にはこの母親の姿があります。外国で暮らした経験もない母ですが、とても流暢な英語を話します。

「美しい英語」への興味

大学生の時に、英語通訳者の方とお話をする機会がありました。当時、英文科で通訳者にも憧れていた私は、その方に「英語力を上げるのには何が大事でしょうか？」と聞きました。彼女はにっこり笑って、しかし真面目な声ですぐにこう答えました。「やはり、美しい英語に触れることが大事でしょうね。」この言葉は30年以上経つ今も、忘れていません。それどころか、英語を使う職業に就いた私にとってはますます重みを持つ言葉になっています。多くの国や文化的背景を持つ人たちが多種多様な英語を使用し、World Englishes の時代に突入している今、「美しい英語とは一体どんな英語なのか？」と疑問を呈する人もいるかもしれません。それでも私は、この「美しい英語」に興味を持ち続けています。

英語を磨くために――使っている教材とその使い方について

質の高い授業が提供できるかどうかは、教師の英語力が大きく影響すると思います。ですから、日々、自分自身の英語を磨き続けることはとても大切であると強く感じています。そして、英語教師としての英語を磨くためには、日々使用する教材をある程度精査することが大切だと思います。私自身は、自分の英語力を磨く時に、その通訳の方がおっしゃった「美しい英語」であるものを教材として選ぶように心がけています。私たちの時間は限られています。効率よく英語を磨いていきたいと思うからです。

① NHK ラジオ講座

朝、通勤の時に車の中で聴いています。また「NHK ゴガク」というアプリをダウンロードしていつでも聴けるようにしています。私は中学１年生の時からずっと、NHK のラジオ講座を聴き続けています。大切なフレーズはその場で覚えられるように、後からついて声に出して復唱しています。

② NHK テレビのニュース

NHK の夜の９時から放送されるニュースを録画し、次の朝、英語で視聴しています。気になる表現があると、メモします。時事英語の表現を学ぶことができ、「なるほど、こういう言い方をするのか！」と毎回勉強になります。また授業において時事ネタの small talk を行う時に役立ちます。洗練された表現を学ぶことができる秀逸の教材です。

③英字新聞や小説

Asahi Weekly を定期購読しています。毎日購読されている人もいると思いますが、自分は毎日だとどうしてもためこんでしまうため、週一の定期購読にしています。様々なレベルに分かれていて、ジャンルも多く楽しく読めます。自分の勉強だけでなく、授業で使うこともできます。最近多くの新聞がデジタル化されていますが、私は敢えて紙ベースで読んでいます。

大学時代、英文科で原書を読んでいた私は、英語の本を読むのも大好きです。普段はなかなか時間が取れないのですが、長期休みになると英語の本を読むようにしています。一冊読むのが難しい人は、短編集がおススメです。私のお気に入りは Chicken Soup シリーズです。一般人からのエッセイを集めた本で、短いお話は２ページほどで終わるものもあります。泣いたり笑ったりしながら、心が温かくなるお話が多くて、読んだ後にとても元気になれます。

④ *English Journal* や音声教材

通勤中は NHK ラジオ講座を聴いています。ラジオ講座がない時は音声教材を流しながら、英文の後について発音してオーバーラッピングをしています。このオーバーラッピングを毎日行っていると、英語を話す時の筋肉が作られていくのか、授業の中での teacher talk の調子が良くなります。

⑤海外ドラマや映画

お気に入りの海外ドラマを録画しておき、それをほぼ毎日寝る前に観ています。気になる表現があれば、メモします。録画をするメリットは、聴き取れなかった表現があると戻ることができることです。警察もののドラマだと「美しい英語」からほど遠い表現もあったりしますが、ドラマではそこも楽しんでいます。海外ドラマはとても authentic な英語です。それを聴いていると、ネイティブスピーカーの英語の速さや特有の言い回しに慣れていきます。私は先日、アメリカ研修の引率でボストンに行ってきました。そのような時に、ドラマを観て勉強しておいて良かったなとつくづく感じます。

映画も大好きです。私は家で観る時は日本語の字幕を外して観ます。もし「美しい英語」にこだわるなら、ディズニーアニメの映画がおススメだと思います。アメリカの友人は自分の娘を育てる時に、観る映画にこだわったと言っていました。「ディズニーアニメの映画の英語は言葉を覚えようとしている子どもに安心して見せられるのよ。とても正しい美しい英語だから。」と言っていたのが印象的でした。

英語を磨くために—どうすれば継続できるか—

語学学習は「続けること」、これが何と言っても大事だと私は思っています。しかし、毎日の仕事に忙殺され、自分の英語の勉強をする時間を確保することが難しいとよく聞きます。私も、授業準備やテストの採点や添削指導などに追われ、「今日は英語にあまり触れることができなかったなあ」と反省することはよくあります。しかし、そこで普段やっていることのすべてをストップしないようにしています。何かしらできることをたった５分でもまた続け始めます。

英語学習を少しでも続けられるように、私が心がけて実践していることがあります。それは３人の子どもを育てながら、家事をしながら、英語力を向上させるために毎日英語に触れていた母親の姿からヒントを得たものです。

①欲張らない、完璧を目指さない

英語学習を行う時には欲張らないことが大事だと思います。完璧にやろうするのも良くありません。例えば NHK のニュースの録画を私はすべて観ているわけではありません。自分が「あ、ここ興味がある」と思うところだけ、朝の準備の手を止めて視聴します。海外ドラマも一話全部ではなく、10分だけ観る、なんてこともよくあります。英字新聞も自分が読みたいな、と思う記事を２つほど読みます。隅々まで読もうなんて思っていません。ラジオ講座を聴く時も、学生の頃とは異なり、今はテキストも購入していません。

②生活の一部にして、ルーティン化する

英語学習が生活の一部になると苦になりません。例えば、私は朝起きると準備をしながら、前日録画した NHK ニュースを英語で視聴します。通勤の車の中は、英語を聴く時間になっています。そして寝る前にはストレッチをしながらドラマを観ます。このように、毎日同じ生活リズムの中に決まった英語学習が入っていれば、苦にならずに継続することができます。

③気楽に楽しむ

私は映画やドラマを観る時は英語学習というよりも楽しんで観ています。映画やドラマは私にとってどちらかというと娯楽です。このように「楽しみながら」という要素を入れながら英語学習ができれば、より一層続けやすくなります。

最後に

今でも思い出すのが、英字新聞を片時も離さずに持ち歩いていた母親の姿です。私を医者に連れて行くと、待ち時間に英字新聞を読んでいました。当時、地方の小さな町にある医者の待合室で、英字新聞を読む女性などおらず、私は恥ずかしく感じたのを覚えています。母はそんな私の気持ちなど全く意に介す様子もなく、夢中になって英字新聞を読み続けていました。

母は38年間、中学校の英語の教師をしていました。今の私の英語の勉強のスタイルは、まさにこの母親の姿が深く染みこんでいると強く感じています。

毎日が学び
――古くて新しい常在学習マインドの身体化英語学習

細井俊克（ほそい　としかつ）
白梅学園高等学校教諭

1. はじめに

こんにちは。東京都小平市の白梅学園で英語と情報を教えている細井俊克です。英語教師としては、この24年度でちょうど20年目のシーズンを迎えます。もともと、大学卒業後に水泳コーチの道へと進みましたが、英語科の教員としても働くようになりました。いくつかの学校を経て現任の白梅学園も11年目になります。ここ６年ほどは、主に一般受験を志す生徒が在籍する特別選抜コースの担任として授業を担当する傍ら、昨年度からは情報も教えています。学校外では慶應義塾大学の通信教育課程学部生として学んでいる現役の大学生でもあります。

2. わたしの勉強歴

私は中学から英語を学びはじめましたが、苦手でした。高校受験の段になり、忘れもしない正月のある朝、一念発起して中学１年の教科書を引っ張り出し、一文一文音読しながら、いわゆる復文を始めました。中学校の教科書３年分の復文をこなし終え、少し英語がわかるようになり、高校時代もひたすら音読と復文で英語を乗り切りました。カセットテープの音源を何度も聴き、自分の声も録音して、格好いい発音を目ざして練習しました。やがて英語に苦労しなくなり、高校２年、３年と英語スピーチコンテスト全北海道大会に出て２年連続で入賞したことも、良い想い出です。

運よく大学は英米語学科に入学しましたが、授業と周囲のレベルの高さに驚きました。20歳の時に英検®１級に合格して自分にも力がついていると感じられたのが大学での唯一の成功体験です。以来10年に１度は英検®１級を受けて英語の「健康診断」をしています。

大学卒業後は水泳コーチとして働き、英語からは遠ざかりましたが、水泳のコーチング関連洋書を取り寄せたり、最新理論を英語で学んだりという面で英語力を活用していました。さらに、教員と医薬系英語の翻訳の仕事も行うようになり、ロジカルな文章を大量に読む多読のような作業の中で、「英語を読めて当たり前」という感覚が得られるようになりました。

3. 少ない時間をどう学習に生かす？

とにかく教員は多忙です。時間のない中で自己研鑽は後回しになりがちです。自分の力を磨くには、意識して学んでいる状態を増やすしかありません。その中の一つに通勤時間の活用があります。通勤の道すがら行っているのは、授業の音源やBBCニューズのシャドウイングです。理解した英文の反復音読は、地味ですが語学習得の王道です。ネイティブ発音でなくとも、精一杯、生徒のモデルになる発音を維持したい。でも日本語と英語では調音が違い、発声に使われる筋肉も違います。不思議なのは、他の先生はどこで発音を磨く努力をしていらっしゃるのかということです。教員室で音読練習はできないですよね。私は努力しないとスキルが落ちてしまうと思っているので、発音技術を維持するコツがあったらぜひシェアしていただきたいです。

生徒と一緒に勉強する時間を確保してしまう、という技もあります。本校は朝７時には開門し、熱心な生徒は朝早くから勉強しています。朝に時間など取れないという先生方が大半でしょうが、私はHR教室でルーティンの仕事をしながら登校生徒を迎えつつ、30分間ぐらいを英書や*Japan Times*を読む時間にしています。英語に触れる時間が増やせますし、目の前で生徒が一生懸命勉強しているのを見ていると、自分も頑張ろうという気持ちになります。さらに、朝のSHR前には10分の朝読書があり、ここも生徒とともに読書する時間に活用できます。先生が教卓で英語の本を読み、英語を使うことを目の前に見せてあげることができれば、英語学習者としてのモデルを提示していることにもなるでしょう。波及効果も大いにあるのではないかと思います。

4. 教えることが何よりの勉強になる

何より英語の勉強になっているのは、教壇に立って生徒に

教えることだったと思います。音読多読の力業の英語学習で、英語が使える感覚はあったものの、授業ではうまく言語化できない。インストラクショナルデザインを試行錯誤しつつ、感覚でわかっていることと理屈で理解できることを徐々に結びつけられるようになりました。さらには、教えたことを生徒たちがそのまま学ぶわけではない、という発見もありました。教員は知識を生徒に転移可能と感じて教えがちです。でも、教えさえすれば生徒の学びが成立するというような単純なものではないことも、理解していただけると思います。言語的・非言語的対話を通じて知識がその学習コミュニティの中で構成されていくと言ったらよいのかもしれません。このように対話を通じて学びが深まるということを実感できたのは、ごく最近です。

特に自分の力になった教材研究は、教科書英文のサマリーやリライトを通じてテキストを換骨奪胎する取り組みです。教えはじめた頃は、教科書をそのまま使って、教科書に最初からついている QA や TF 問題を通り一遍にやるような授業しかできていなかったのですが、それでは生徒の実力が伸びていかない。特に、生徒たちの英語の学力レベルに差があるとき、教科書掲載問題で深い理解を促すことは難しい。オーラルイントロのような口頭説明やインタラクションを中心に授業をしましたが、題材によって理解が浅くなる。音声だと消えてしまうので、*Graded Readers* のように教科書をパラフレーズしたテキストとして提示し、少しずつ本文に近づける試みをやり始めたころから、生徒の理解が深まるだけでなく、自分の英語言いかえ力もついてきました。特に *COBUILD* や *LDOCE* などの辞書が役に立ち、机上に何冊も辞書を開いて作業をしました。アナログな手法で、作業効率という面では非常に非効率的でしたが、言語の身体化・血肉化という意味では「非効率」なことにも意味があると思います。物事をきちんと理解するには時間が必要ですし、特に言語学習においては「効率性を追求することがもっとも非効率である」というような面もある。今では、オンラインリソースや生成 AI が簡単に利用できますし、効率的な作業もできると思いますが、言語の身体性のようなものは、やはり大事にしなくてはならないと考えています。

5. 定期的な英語力の「健康診断」を

英検 1 級を学生時代に取り、以来10年に 1 度受験していると述べましたが（実は本稿を執筆中に、1 次を受験し、なんとか突破）、TOEIC®や TOEFL®なども受験するようにしています。TOEIC®は月に 1 度は受験機会があるので、あまり行事に縛られることがありません。ここ10年くらいは TOEIC® L&R と S&W を交互に最低半年に 1 度くらいは受けています。それぞれの測定している英語力はかなり違いがありますが、教員として必要な英語力の一つの目安にはなります。

留学を目指して一定のスコアとらなくてはならないというような目標があるわけではないので、試験対策はしません。純粋に「そのテストでの英語力」を測るだけです。いわば「英語力の健康診断」ですが、プレッシャーがかかる状況でのテスト受験は、生徒が様々なテストを受けるときの気持ちの追体験でもあります。TOEFL®や IELTS は受験料がそれなりに高いので、そういう意味でもプレッシャーはかかります。

対策なしに資格試験を受けるのはもったいないと感じるかもしれませんが、自分の英語力を客観視する意味でも試験を受けてみてはどうでしょう。試験中にわからないことが出てきたときには、次の勉強の種を発見して幸運だ、と思えばよいのです。試験での先生の失敗談、試験での気づきや学びを、生徒に還元していくこともできます。そうやって自己研鑽をしている姿自体が、よい波及効果を生み、言葉の説得力も違ってくる。お忙しいとは思いますが、受けてみると案外、楽しいものですよ。

6. ライフ・ロング／ワイド・ラーナーとして

私の英語学習について書いてきました。地味でシンプルな勉強法です。音読、多読という身体技能トレーニングのようなことが基礎になり、実践から理論と感覚が結びついた。身体活動である水泳指導経験も、英語学習と統合されているといえるかもしれません。

これからは生成 AI や機械翻訳を使ったりして、より多様に英語力を高めていくことができる可能性がある。今後10年間はそれを探究する学びになりそうです。ただ、言語の身体性についても触れましたが、いかに技術が進んでも、やはり我々は人間です。人間は関係性の中で学びます。英語勉強法として生徒に教えることが最良の勉強であるというのは、それを証明しているともいえる。これからの時代も、人生全てが学びであり、生涯にわたって成長していく学習者でありたい、生徒たちにとって学びのモデルとなりうる教師でいたいと願っています。

「Life の精神」で日々研修を！

横田純一（よこた　じゅんいち）
埼玉県立久喜北陽高等学校教諭

はじめに：英語教師として学び続けることの意義と現実の多忙感

この春から英語教師としてのスターを切る方や，私のように20年以上既に教壇に立っている教師にとっても，春は英語教師の出発点を確認し，自己研鑽のあり方についてあらためて考える良い季節なのではないでしょうか。自己の英語の力を高め維持して，その一端が授業の中で発揮される――そんな教師像を理想とする人もいるでしょう。そしてその教師像に近づくためには，指導技術に関する知識・技能に加えて，英語の言語スキルの向上も必須でしょう。英語教師の豊かな言語運用や英語を学び続ける姿勢が，生徒たちの良きお手本（role model）になるのは確実です。また教師自らの自己成長やそこから生まれる成就感は，英語教師として生きる底力となってゆくものとも思われます。

しかしながら，教育現場の多忙な状況から自己研修の時間の確保は容易なことではないのも現実です。若手の教師ならば，馴染みのない競技の運動部部活動を任され，一方ベテラン教師は分掌や学年主任を任され，教科や研修に割く時間が圧縮される厳しい現実もあります。本稿では私が実践する個人レベルの英語の勉強法や研修時間の確保の仕方等を紹介したいと思います。

「時間がない」とどう向き合うか？

そもそも「時間がない」と感じるのは何故だろうか？ と私は考えたことがあります。何も勉強していない訳ではないのに，十分な学習時間が確保できていないと感じる気持ちの裏側には何があるのか疑問に感じたわけです。この疑問に対する私の回答は，机に向かって勉強していないからやった気がしない，コンスタントに勉強できていない，効率良く効果的に勉強できていない，身についたかどうか実感が湧かない等々でした。どれも受験生の取るべき学習スタイルが基準となっている感があり，多忙な社会人・英語教師が抱えるべき悩みではないと思うに至りました。「受験生の勉強レジーム」（といったら大袈裟ですが）から脱却しないといけないという結論に達した訳です。

その一方で，時間がないと言う割には，スマホのスクリーンタイムは結構な数値にまで積み上がっています。いつの間にか１日に数時間単位でスマホを使っている現実に愕然とします。そんな暇はないはずなのにと不思議に思いながらも，スマホに限らず隙間時間の浪費は他にもあるはずですから，勉強に充てられる細切れ時間はありそうだと気がつきました。そこで私は以下のように自己研修のための学習環境を整え，日々少しずつ英語に関する学習を継続することにしました。

時間の確保　私の勉強法・学習環境の確保

(1) まずは読むことから始めよう

職員室の机上には TOEIC®や英検®などの短いパッセージを常備して，5分でも暇さえあれば読むようにしています。読解方法などといったくどくどとした解説は不要ですが，英文の内容に対する問いと単語リストと和訳があれば完璧ですね。敢えてここでは辞書を引く時間は省いて読むことのみに集中するようにしています。『メガドリル TOEIC® TEST リーディング Part 7』（能率教育，森田鉄也 著）という名前の通りの分厚いリーディング問題集は上記の条件を全て満たしており，5分以下の隙間時間でも直ぐに取り組める教材なのでお勧めです。これ以外ですと，洋書になりますが，*Inventing the 20th Century*（Stephen van Dulken 著）のように１ページで１つのストーリーが完結するものや，*A-Z Companion*（The British Museum），*Meet the New National Palace Museum*（国立故宮博物院：博物館が出版している所蔵品に関する書籍）や，*Fodor's Travel*（英語で書かれた旅行ガイドブックのシリーズ）なども短時間で読み終わる短いパッセージが沢山盛り込まれているので，手元に常備しておくと，日々多読に取り組むことができます。自分が好きな内容のものを書店の洋書コーナーで見つけたり，海外の博物館や美術館で購入しておいたりして，まずは積読（つんどく）しておくと

良いと思います。また，興味深い内容の英文と出会った時や，読んで心を動かされた場合は，殴り書きでも良いのでまずは英語で書くのも，日常的に英語を読み続ける動機付けになる活動だと感じています。

(2) OJT で話す・書く練習をしよう

発信型の英語（書く・話す）は非英語圏にいる我々にとって，聴く・読むより勉強しにくい面があると感じますが，職場に ALT がいるならば，積極的に通訳を買って出ましょう。事務室の方が手続き上必要な連絡があるときに通訳したり，住居や銀行などについて，慣れない日本での生活を手伝ってあげることが OJT として機能するでしょう。私はなかなか自分自身に満点をあげられるほど上手く言えないといつも感じてしまいますが，ここからが勉強で，何と言えばより良かったのかを後から調べて書いておくようにしています。

またティーム・ティーチングの打ち合わせの前に，打ち合わせ内容を英語で一気に書いてみるのも良い訓練ですし，仕事上必要な範囲での英語の運用能力をすぐに高められると思います。かつての同僚の ALT は私と同じ写真撮影の趣味があったので，英語で雑談するという面白い研修（？）を経験することができましたが，普段はあくまで仕事を英語ですすめることに集中すべきでしょう。

英語を話す以前に，シンプルに教科書の音読をするのも良いウォーミングアップであると思います。授業時間の関係で，教科書の全文を生徒に音読させる時間を確保するのは至難の業ではありますが，教える側としては意味を踏まえながら上手に音読できるようにしておくことは有意義でしょう。教科書の音読を通していつの間にか使えるようになっている英語の表現が増えてゆくのも楽しい経験です。授業の仕込みが自分の勉強にもなっているなんて，我々の仕事はなんて素敵なことの連続なのだろうか，と私は常々思っています。

音読のほかに，教科書本文の内容に関する感想や思いを書いたり，話したりするのもお勧めです。確かに授業スタイルは学校の様々な都合に左右されるので，それが直ぐに授業で発揮されるどうかは分かりません。しかし，レッスンごとに日頃から感想なり思いなりを書いたり話したりすることを習慣にしていれば，例えば別の場面で自由英作文指導を行う際に，生徒に「教科書のこのレッスンを読み直すと考えを深められるよ」といったアドバイスを与えられるようになり，即ち指導力が向上します。あるいは作文の例を直ぐに挙げられるようにもなり，生徒に「英語でスラスラ自分の考えが言えて，かっこいい！」などと言われて（笑）良いお手本になることもできるかもしれません。知的な意味での生徒との最大のプラットフォームは教科書になりますので，教科書の音読や内容について考えて書いたり話したりすることは，長期的には何らかの形で生徒にとっても役立つことが多いです。

教科書以外では，生徒の英検®のライティング対策指導で使用したテーマについて，添削ではなくて自ら考えて書いてみる，すなわち模範解答を作るのも良い方法です。私は１つのテーマに対して賛成・反対両方の意見を必ず複数パターン作って生徒に配布しています。書くときは，授業の空き時間１時間をまるまる使って全力で集中するようにしています。最終的に生徒に配布することを自らに課すと程よいプレッシャーと動機づけが得られて，英語で「全力疾走」したような爽快感（？）が得られます。

いずれの場合も研修したことが生徒に役立ったということで，自分の英語教師としての成就感も高められます。こうすることで自己研修が有意義なものになってゆくのだと私は考えます。

(3) リスニングの機会を確保しよう

電車通勤や車での通勤時，文字を書くことはできませんが，少なくとも耳は空いており，「リスニング」の時間を確保できます。適切な内容とレベルであれば，結構な時間をかけて聴くことができます。私はスマホと車のステレオをセットアップし，車のエンジンをかけると好きな英語のポッドキャストが再生されるようにしています。お勧めは，BBC ニュース，CNN，All Ears English，Aussie English，TED Talk などです。Instagram などの SNS 上のショート動画を活用してリスニング力を向上させるのも手軽に始められる自己研修の方法です。ショート動画は短いため，集中力が持続しやすく，何度も繰り返し視聴できる利点があります。SNS のショート動画は，自分の目的やレベルに合わせて気軽に動画アカウントを登録・解除できるため，研修用マテリアルとして非常に使い勝手が良いです。Stand-up comedy やドラマ *Friends* の動画は「理解できるようになって思いっきり笑いたい！」と思える良い教材であると思います。

おわりに：「Life の精神」で日々研修を！

私の好きな言葉（単語）に Life があります。多くの英和辞典での意味は，「生命，生物，生活，活気，人生」などです。これらの意味を目にすると，心身ともに健康で，日々学び続ける活力に満ちた生活を送ることが出来れば，英語教師として満ち足りた人生を歩める，とワクワクした気持ちになりませんか？

日常生活の隙間時間に勉強時間を組み込んでゆくと，だんだん勉強の場所や時間が固定されてゆき，結果的に習慣化してゆくのを感じます。当たり前ですが，教員生活は（辞めない限り）生涯続きます。「英語教師としての勉強は長期戦」と捉えて焦らず弛まず一緒に続けてゆきませんか？

【『英語教育』記事・再録コーナー】

紐づけ学習で学びを広げ継続させる

川野泰崇（かわの　やすたか）
大分工業高等専門学校准教授

■資格試験とその他の学習を紐づける

映画やドラマを視聴したり洋楽を聴いたりするだけだと，英語に触れてはいるものの目的意識が薄れ，自分の英語力がどの程度伸びたのか把握しづらい。実力アップを図る第一歩として，英検やTOEIC®など生徒に取り組ませている資格試験があれば，そこを皮切りに自身も取り組んでみてはどうだろうか。同じ苦労を共有できる学習者の一人として勉強に取り組む姿勢を教師が身をもって示すことで，クラスの一体感が高まり，授業中の生徒の取り組み姿勢も変わること間違いなしである。

私の場合，TOEIC® L&Rテストを定期的に受験して英語力に衰えがないか確認している。一種の定期健診のようなものである。授業でTOEIC®を教えている手前みっともないスコアは取れないという気負いもあるのか，いざ申し込むと普段の様子からは想像できないくらいひたむきに勉強している自分がいる。どうやら資格試験は学習のペースメーカーとして働いてくれているようである。

英語の資格試験は様々あるが，１つ頂点を極めると，達成感と自信から，新たに次の資格試験へ挑戦しようと思うようになる。１つ突破口を開くと学習が数珠つなぎに転がり出す。技術英検では理工系英語，国連英検では時事英語，全国通訳案内士試験では日本文化に関する英語といったように資格試験によって求められる英語力が異なるため一筋縄ではいかないが，すべての頂上を縦走していけば，最終的には幅広いジャンルに対応できる英語力が身に付くのでやりがいもある。

試験対策としては，過去問や単語集などの教材を中心に取り組むことになるが，それだけでは学習が単調になり，続けるのが辛くなる。資格試験対策は他の学習と紐づけて行うとよい。そうすることで，英語力の強化とは別に新たに学習の意義や価値が発見でき，自然と試験対策にも熱が入る。

例えば，国連英検特Ａ級の取得を目指すのであれば，*The Japan Times*/*The New York Times Weekend* などの英字新聞や，*Time*，*Newsweek* などの英雑誌を定期購読することをおすすめする。リーディング対策になることは言うまでもないが，購読を続けると次第に国際情勢に対する見識が広がり，国際感覚や一般教養が身につく実感が湧きおこり，試験勉強にもやりがいが生まれてくる。

全国通訳案内士試験の対策では，動画アプリ「NHK WORLD-JAPAN」の視聴をおすすめする。日本の文化・伝統や観光名所に関して情報収集を図りつつ，当たり前に思っていた自国の文化の良いところが再認識できて楽しくなる。加えて，近場に観光名所などがあれば足を運び，英語パンフレットや各所に設置されている英語の説明板から情報収集をしつつ，通訳ガイドになりきって家族や友人に迷惑がられない程度に英語で案内するのも一興である。

■趣味と英語学習を紐づける

毎日ストイックに勉強できればそれに越したことはないのだが，私の場合，資格試験の勉強のように必要に迫られない限りは三日坊主に終わることが多い。職場では日常，教材研究に追われながら英語と向き合っているわけだから，せめてプライベートの時間くらいは息抜きしたい，というのが本音である。しかし，仕事以外で英語を勉強しない日々が続くと，職業病なのか性格なのか，そこはかとない背徳感に駆られてしまう。私の場合，趣味でゲームをすることが多いが，これを英語学習に紐づけて，ストレス発散しながら英語を勉強したという自己満足を得るようにしている。

昨今のゲームは多言語対応のソフトが多く，言語設定を切り替えるだけで英語に触れることができるので大変ありがたい。特に RPG やアドベンチャーゲームでは，登場キャラクターのやり取りが多く学び甲斐がある。ゲームをする際は，音声・字幕を英語に設定して，セリフの中で知らない表現が出てきたらコントローラーのスクリーンショットボタンを押して撮りためた後，まとめて辞書で調べるようにしている。和製ゲームの中には多言語対応していないソフトもあるので注意が必要である。メジャーなタイトルであれば海外に出荷されているものもあるので，逆輸入するのも手だ。

ひと昔前はゲーム機にリージョンロックがかかっており，海外版ソフトは日本で発売されたゲーム機でプレイできなかったが，うれしいことに最近のゲーム機はそうした規制が解除されている。国内外を問わず好きなジャンルの好きなゲームに没入しながら英語が学べるのは大変ありがたいことである。

個人的な話になるが，最近は『ドラゴンクエスト X オンライン』にはまっている。残念ながらこのゲームには英語版がない。背徳感を抱きつつも半ば開き直ってゲームに興じていたが，プレイ時間が130時間を超えたあたりからさすがにこのままではまずいと思うようになった。そこで，英語のインプットが得られないのであれば，発想を転換して日本語を英語にアウトプットすれば，ゲームと学習を紐づけられると考えた。以降，登場キャラクターのセリフをすべて和文英訳するようにしている。頭の中で粗訳して，訳出できない箇所があればセリフをスクリーンショットして撮りためていく。その後，和英辞典を使って当該箇所を調べあげていく。脳内での英訳作業による疲労感からか1回あたりの平均プレイ時間が短くなってしまったが，総プレイ時間が290時間を過ぎた今では，英語表現も豊かになり，英訳作業もスムーズになってきたように思える。「プレイ時間＝英語学習の時間」として捉え直してみると，自己満足ながら誇らしくもすがすがしくも思えてくる。

■学習環境を便利ツールと紐づける

今やアプリのおかげでいつでもどこでも英語学習ができる時代である。ジョギングをしながら海外のラジオ番組やオーディオブックを聴いたり，SNS 上で海外のフレンドと英語でやり取りしたりと，国内にいながら日常的に英語に触れる機会があるのは大変ありがたいことである。とはいえ，漫然と英語漬けになるだけでは不十分で，適宜，意図的な学習を取り入れるように心がけている。作業感が強いと学習が億劫になるため，私の場合，アプリや拡張機能などの便利ツールと紐づけて，負担感なく手軽に学習できるようにしている。

私のおすすめのツールは，「デュアル字幕機能」と「英辞郎 on the WEB Pro（有料）」である。

Google Chrome の拡張機能の1つにデュアル字幕機能があるが，これを使えばパソコン上で動画を視聴する際に英語字幕と日本語字幕が同時に表示できるので便利である。利用にあたって，動画配信サービスに応じて対応のデュアル字幕機能をインストールする必要がある。例えば YouTube の場合は，「YouTubeTM デュアル字幕（無料）」をインストールするとよい。デュアル字幕のおかげで，煩雑な字幕の切り換え作業から解放され，動画視聴を楽しみながらその場で聞き取れなかった箇所や知らない表現の確認ができるようになった。なお，DVD や Blue-ray Disc を視聴するときは，CyberLink 社製の動画再生ソフト「PowerDVD 22 Ultra（有料）」の多重字幕機能を利用している。私にとって多重字幕機能は，今では動画視聴に欠かせないツールとなっている。

「英辞郎 on the Web Pro（有料）」は，収録語数と例文が豊富なオンライン英和・和英辞典である。Web ページ上の単語であれば入力せずともマウス操作だけで検索できるため，手間なく気楽に調べることができる。調べた表現はワンクリックで単語帳に登録でき，後で復習ができるため便利である。拡張機能を使えば検索結果に表示されている単語をダブルクリックするだけでジャンプ検索できる。例文を読み漁りながら，意図せず知らない表現に遭遇することもしばしば。ジャンプ検索をしながら気づけば言葉の海を漂っている。

information

教員の英語学習に関する他の特集記事は『英語教育』2023年8月号第1特集「「教師の英語学習」を豊かにしよう」でお読みいただけます。

毎月14日発売定価913円（税込）

【『英語教育』記事・再録コーナー】

教師の「勉強」どうしてる？

八木孝之（やぎ　たかゆき）
東京都立新宿山吹高等学校教諭

「英語学習にも授業づくりにもゴールがない」ことを日々感じております。同時に，英語の学びや，授業改善のための時間の確保には苦労しています。

日々の英語の学びを日々の授業準備から

教員になってからの数年間は，英語の授業を英語で成立させるために，ピクチャーカード，新語のフラッシュカード，ハンドアウト，文法事項を解説するためのPowerPoint を用意することに多くの時間を取られていました。いざ授業に臨むと生徒は楽しそうに活動をしているのですが，振り返ってみると授業の中で使われている英語に自分の意識があまり向いていないことに気が付きました。しかし，忙しい日々の中で，自分の英語学習の時間を取ることは難しいと感じていました。

そこで，教材研究を自分が英語を学ぶ時間にしようと意識を変えました。英語の授業を英語で進めるには，まずは教材と自分が使う言葉を丁寧に扱うことが必要だと感じました。振り返ってみると，それは自分の授業準備に一番欠けていた大切な要素でした。まずは扱う教科書の英語を，なぜこの表現が使われているのか，他の表現ではダメなのか，と一読者として疑問を持ちながら読むようにしました。内容がわかっているだけで満足せず，教えるページの音読筆写，暗唱，リテリングを自分で授業開始前に行うようにしました。そのようにして，より授業の内容に厚みを持たせることができるようになってきました。

隙間時間の活用としては，通勤時間の電車の中で，定期購読している *TIME* を１パラグラフでも読むようにしています。自宅から駅，駅から学校まで歩いているときは NHK の「ラジオビジネス英語」を聴いて，シャドーイングを行っています。身銭を切るのだから，身につけないともったいないと自分に言い聞かせています。ここで学んだ英語も授業で活かすようにしています。例えば，生徒が教科書や単語帳で学習した単語が，実際のニュースでは違う意味で使われていることがあります。コロナ禍でよく見かけるようになった単語の１つとして，英語ニュースで使われている claim を授業で紹介しました。“Covid has claimed the lives of nearly 1 million people in the U.S.”（2022.4.30，NBC News）という文の claim はどういう意味かを生徒に辞書で調べてもらいました。

授業がうまくいかないときこそ研究会へ

英語の授業の研究会は，土曜日の授業や部活動が終わった後，あるいは日曜日に開催ということがほとんどです。月曜日の授業準備が終わっていない状態でさらに研究会に行ってしまうと，睡眠時間をまた削ることになってしまいます。特に，忙しい時期に無理して参加すると体を壊す可能性があります。あくまで土日は休むことが必要という前提ですが，１年に一度でも研究会へ参加することで，日頃の授業の悩みが解決することが多々ありました。

オンラインでの研修が増えてきましたが，私は対面で研究会に参加することをお勧めします。対面であれば，新たに得たアイディアを自分の生徒に応用するヒントを，研究会後に先輩方から得ることができます。今は，様々な研修や研究会があるため，自分がこれだと思うものに継続して参加されるのがよいと思います。継続して参加することで，先輩方から授業のアイディアだけでなく，細かいアドバイスをいただけることもあります。また，時には日頃の授業のうまくいかないことや悩みを聞いてもらって元気になることもあります。

よりよい授業ができるようになるためには，教師が英語を学ぶことと授業について学ぶことの両方が必要ですが，もちろんプライベートも重要です。今後もできる範囲で継続をしていきます。

見たかもしれない風景

矢上川にて。

|撮影| 河西　遼

学習者間の協働的やり取り：社会的エンゲージメント

廣森 友人（ひろもり ともひと）
明治大学教授

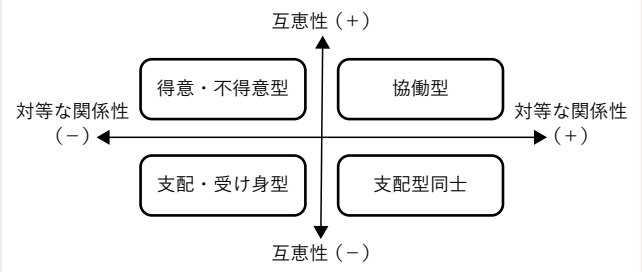
これまで本連載では，学習者エンゲージメントを構成する３つの側面―行動的，認知的，感情的エンゲージメント―について取り上げてきました。これらに加え，英語授業においては，他者との社会的なやり取りが重要視されるため，「社会的エンゲージメント」（social engagement）と呼ばれる第４の側面も大きな役割を果たします。

社会的エンゲージメントは，教室内での学習者同士の関係性，ペアやグループワークへの参加意欲に焦点を当てています。学習指導要領で，ペアワークについて明示的に，繰り返し言及しているのは外国語（英語）科だけです。つまり，英語授業ではコミュニケーションや協働の重要性が特に強調されていることがわかります。社会的エンゲージメントを促進することは，生徒が言語を実際のコミュニケーションツールとして使用する機会を増やし，実践的な言語運用能力を育成する上で欠かせません。

POINT 1

学習者同士の協働的なやり取りである社会的エンゲージメントは，コミュニケーション能力の向上や言語習得の促進に大きく寄与する。

ペアワークにおける学習者間のやり取りには，様々なパターンが存在します。Storch（2002）はこれらを「対等な関係性」（equality）と「互恵性」（mutuality）の観点から，以下の4つのパターンに分類しています。



図：ペアワークでのやり取りのパターン（Storch, 2002, p. 128）

Storch の研究によると，「協働型」と「得意・不得意型」のパターンでは，互いに知識を交換し合い，教え合うことが頻繁に行われ，結果として，課題遂行において高い成果を上げる傾向にあることがわかっています。このようなパターンを促進するためには，生徒たちが積極的に関わり合い，協力し合う活動を授業に取り入れることが重要です。ロールプレイ，ディスカッション，プロジェクトベースの学習など，共同でタスクを遂行する活動は，社会的スキルの発達に寄与し，言語学習への動機づけを高める効果も期待できます。

また，教室内で協働的なやり取りを促進するためには，生徒が安心して学べる支持的な学習環境を整えることが重要です（廣森 , 2023）。特に英語が苦手な生徒は，過度のプレッシャーや不安を感じやすいため，彼らが自分の能力に自信を持ち，自分が受け入れられていると感じる環境を作ることが大切です。タスクの難易度を適切に調整し，無理なく学習に取り組めるような仕組みがあれば，生徒たちは互いの強みを活かしながら，協力して学習に取り組むことができます。

POINT 2

ペア/グループワークを実施する際には，生徒たちが知識を共有し，相互に学び合う環境を作ることが重要。

社会的エンゲージメントを意識した活動を授業に取り入れることで，生徒たちは英語を単なる勉強すべき科目ではなく，実践的なコミュニケーションツールとして捉えるようになります。これにより，生徒たちは言語をより深く理解し，将来的にグローバルな社会で活躍するために必要なスキルを身につけることができます。教師がこの側面を理解し，授業に取り入れることで，生徒たちの言語習得と世界市民としての成長を促すことができるはずです。

参考文献

廣森友人（2023）.「英語に苦手意識のある学習者をどう動機づけるか？ 3つのポイントから」『英語教育』2023年9月号，大修館書店，22–23頁.
Storch, N. (2002). Patterns of interaction in ESL pair work. *Language Learning*, 52(1), 119–158.

Profile

主な著書に『改訂版 英語学習のメカニズム：第二言語習得研究にもとづく効果的な勉強法』『「学ぶ・教える・考える」ための実践的英語科教育法』『動機づけ研究に基づく英語指導』（大修館書店）。学生のエンゲージメントを高めるために日々奮闘中！

Question Box

英文法の「なぜ」？

朝尾 幸次郎（あさお こうじろう）

英語研究者

Vol.05

「しかし」だけでない butの意味と使い方

Q but for を「…がなければ」と読むのはなぜ？

中学校では but を「しかし」と教わります。ところが，高校生になると but for（…がなければ）という言い方，そして「…を除いて」という意味の前置詞 but にも出会います。これらは「しかし」という意味とどうつながるのですか？

A いずれも but の原義「…を除いて」に由来します。

接続詞 but（しかし）も仮定法で使う but for（…がなければ）も「…を除いて」という butの原義から生まれました。

but の元々の意味：「…を除いて」

「…を除いて」という元の意味は今でも広く使われます。次は裁判で証人に宣誓を求める決まった言い方です。

> Do you solemnly swear that you will tell the truth, the whole truth, and nothing *but* the truth?
> あなたは真実を，すべての真実を，そして真実のみを述べると厳粛に誓いますか？

この nothing *but* the truth は「真実以外（←真実を除いて），何も…ない」，つまり「真実のみ」という意味です。

「しかし」という意味の but

「しかし」という接続詞はこの「…を除いて」という意味から生まれました。『オックスフォード英語辞典』はこの用法の由来を次の例で説明しています（but の項）。

> Nobody else went *but* me (or I).
> 私を除いて，だれも行かなかった。

かつては前置詞と接続詞の境界はあいまいでした。この but もそうで，前置詞ととらえれば，but me は「私を除いて」，接続詞ととらえれば，but I は次のように理解されました。

> Nobody else went *but* I (went).
> 他にだれも行かなかった。私（が行ったの）を除いて。

これは「だれも行かなかったが，私は行った」と同義です。ここから but に「しかし」という用法が生まれました。

「ほんの」「ただの」という意味の but

この but には次のように「ほんの」「ただの」という副詞の使い方もあります。

> Life is *but* a dream.
> 人生は夢にすぎない（←ほんの夢だ）。

「…を除いて」という意味の but は否定の語句と共によく使われます。先に見た宣誓のことば，tell *nothing but* the truth（真実以外，何も述べない）もそうです。これは tell *only* the truth（真実のみを述べる）と同じ意味です。ここから but はそれだけで only（ただ…だけ）と同じ意味を表すようになりました。

「…がなければ」を表す but for

次はアガサ・クリスティー（Agatha Christie）の推理小説『スタイルズ荘の怪事件』（*The Mysterious Affair at Styles*, 1920）に使われている but for の例です。探偵ポアロは事件解決のカギとなる遺言書を見つけます。登場人物の1人が感謝して次のように言います。次の him はポアロのことです。

> “*But for* him, we should never have known of this will.”
> 「ポアロさんがいなかったら，私たち，この遺言書のことは知らないままでした」

文法学者カーム（George O. Curme）は，この but for は but it were for の意味だと説明しています（*Syntax*, 1931）。

> *But* [*it were*] *for the thick trees* the bitter wind would blow the house to pieces.
> 寄せ合う木立がなければ，強風で家は崩壊するだろう。

この for は He got a ticket *for* speeding.（彼はスピード違反で切符を切られた）と同じく，原因・理由を表します。また，it は存在を表す言い方で，形の上で主語に立てたものです。この but it were for the thick trees は「寄せ合う木立という原因の存在を除いた場合」ということから「寄せ合う木立がなければ」という意味になります。

一見，ばらばらに見える but ですが，いずれも「…を除いて」という原義からたどることができます。しかし，私たちは「しかし」という意味を先に学ぶため，意味のつながりが見えにくくなりました。

Profile

『英語の歴史から考える 英文法の「なぜ」』『同２』が大好評発売中。

教育ニュース

2023年 9月	2022年度の小中学校の不登校者数は29万9048人，小中高・特別支援学校のいじめの認知件数は68万1948件で，いずれも過去最多。
10月	教職課程認定基準を改正，２年間で小中学校などの教員免許を取得できる教職課程を４年制大学にも設置できる特例新設へ。／こども家庭庁は所得が一定に満たない低所得世帯などの高３年と中３年に受験費用などを補助する制度を創設する考えを提示。／児童生徒の学びの保障に向けた不登校対策として「COCOLO プラン」を前倒し。
11月	裸眼視力が1.0未満の割合が小中高校で過去最高に。／23年度の国公私立大学入学者のうち3.5割超が学校推薦型選抜で入学，総合型選抜による割合は約1.5割。
12月	経済協力開発機構（OECD）の22年国際学習到達度調査（PISA）で，日本は「読解力」，「数学的リテラシー」，「科学的リテラシー」の全３分野でトップ５入り。▶PICK OUT①／24年度予算案を閣議決定，小学校高学年の教科担任制導入に向け1900人を増員し，計画を１年前倒し。／22年度に精神疾患で休職した公立学校教員は6539人で，初めて6000人を超える。22年度実施の公立学校教員採用試験で，小学校教員の競争率が2.3倍と過去最低に。▶PICK OUT②

PICK OUT

① 読解力３位でトップ水準回帰，22年 PISA 調査

経済協力開発機構（OECD）は，世界81か国・地域の15歳を対象にした2022年国際学習到達度調査（PISA）の結果を公表した。日本は課題となっていた「読解力」が大幅に改善し，「数学的リテラシー」，「科学的リテラシー」を含めた３分野全てで順位を上げ，世界トップ５入りを果たした。調査は３年に１度，世界の15歳の子供を対象に実施。今回はコロナの影響で１年延期され，世界から約69万人が参加，日本からは全国の国公私立高校183校から約６千人が参加した。日本は18年の前回調査から３分野すべてで平均点が上昇。順位も，「読解力」が過去最低だった前回調査の15位から３位に躍進した。「数学的リテラシー」は６位から５位，「科学的リテラシー」も５位から２位へと浮上し，「世界トップレベル」と評された。１位は３分野ともシンガポールが独占した。文部科学省は結果について，コロナ禍で休校した期間が他国に比べ短かったことや，学校現場での授業改善の取り組みが進んだこと，デジタル環境が整備され生徒がコンピューター形式の PISA の試験に慣れたことなどに触れ，要因を「複合的」と分析する。盛山正仁文科相は記者会見で「生徒の学習状況はおおむね良好」とし，主体的・対話的で深い学びなど新しい学習指導要領に沿った授業改善が学校現場で進んでいると高く評価した。

② 「心の病」深刻，病気休職者初の６千人超，文科省調査

うつ病などの精神疾患で22年度に休職した公立学校教員が初めて6000人を超え，過去最多となったことが文部科学省の調査でわかった。調査は全国の都道府県・政令指定都市を対象に実施，人事状況をまとめた。精神疾患による病気休職者数は前年度に比べ約１割増の6539人で，調査を始めた1979年度以降過去最多となった。教員全体約92万に占める割合も0.71％で過去最高。学校種別にみると，小学校が3202人で最も多く，中学校1576人，高校849人，特別支援学校872人などとなった。年代別では，30代が最も多く1867人。50代以上1786人，40代1598人，20代1288人と続いた。中でも20代はこの５年で1.6倍以上に増え，人数に占める割合も18年度の0.54％から0.84％に増えている。文科省は要因について，教員間での業務量や内容にばたつきがあることや，保護者からの過度な要求への対応，コロナ禍での児童生徒や教員間でのコミュニケーションのとりづらさなどがあると分析。今後，労働安全衛生管理体制の整備をすすめるほか，パワーハラスメントなどの防止措置の徹底，保護者などからの過剰要求に対応するための法務相談体制の構築を促進するなど，教員の職場環境の改善を加速させていくとしている。

あずきさんの作品がもっと見られる Instagram はコチラ！

自著紹介

『英語感覚を身につけるための「ネイティブの常識」』

ジェームス・M・バーダマン 著

四六判／224pp.
定価1,760円（税込）
ISBN：978-4469246667
2023年

英語のカルチュラル・リテラシーを身につけるために

ネイティブ・スピーカーは表現を一つ一つ学ぶと同時に，どの場面で適切なものを使えば良いかを会話や読み物の中から学びます。そうして英語のカルチュラル・リテラシー（社会の成員が共有する教養）を身につけていきます。ネイティブでない英語学習者が円滑なコミュニケーションをするためには，実際の社会のさまざまな場面のなかで，相手によって，状況によって，タイミングによって適切な表現を使うことが重要です。

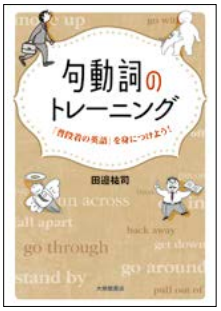
単独の言葉の「ボキャブラリー」だけではなく，「決まり文句」をセットで覚える必要があるのです。覚えたものは自分の「基礎知識」となります。その基礎が広くなることによって，自分の英語の理解力，発言力が高まっていきます。本書に登場する表現は，広くアメリカ英語で使われているもので，英語学習者には重要な情報資源になるでしょう。日常会話や雑誌・新聞などの読み物で出会うものなので，習得は必須とお考えいただいて良いと思います。

（早稲田大学名誉教授　**ジェームス・M・バーダマン**）

自著紹介

『句動詞のトレーニング――「普段着の英語」を身につけよう！』

田邉祐司 著



四六判／216pp.
定価1,760円（税込）
ISBN：978-4469246698
2023年

句動詞の学習で，自然でリズムのある英語の獲得を

本書は，基本動詞と副詞や前置詞の組み合わせの句動詞（例：*put on* the brakes）を「普段着の英語」と呼び，その身につけ方をテーマにしています。英語ネイティブの語彙習得プロセスは「普段着」から始まり，成長するにつれてラテン・ギリシア語由来の語彙（例：*apply* the brakes）の「よそ行き服の英語」を身につけます。ところがL2環境の日本で英語を学ぶ場合，「普段着」を着る期間は短く，一足飛びに「よそ行き服」に“着替え”ます。どちらも大切なのですが，「普段着」にふれる期間が長ければ長いほど，自然でリズムのある英語を獲得できるはずです。“あべこべ”の習得プロセスに一石を投じる目的で，本書では副詞，前置詞の役目に着目し，自然なプロセスに回帰する提案を行いました。シンプルな和文英訳を解いて，解説を読んでください。そうすると，「普段着」の機能，その温かみが自然に身につき，英語表現の幅も広がり，リズムのある英語が出てくるようになると確信しています。

（専修大学教授　**田邉祐司**）

自著紹介

『シェイクスピア、それが問題だ！――シェイクスピアを楽しみ尽くすための百問百答』

井出新 著

四六判／144pp.
定価1,870円（税込）
ISBN：978-4469246711
2023年

シェイクスピアを観る・読むがもっと楽しくなる１冊！

世界中で名前がよく知られているわりに謎の多い劇作家シェイクスピア。いつ生まれたのか，どうやって芝居の世界に入ったのか，どんな思想信条をもっていたのか，わからない問題だらけです。しかし謎が多いからこそシェイクスピアががぜん面白くなるのです。残された史料や作品を注意深く読み込み，最新の学問的成果を応用しながら，残された痕跡から劇作家の仕事ぶりや世界観，宗教的信条を推理し，彼の人物像を少しずつ再現する――そこにこそシェイクスピア研究の醍醐味があります。もちろん伝記を一冊書けば，そうした面白さを伝えられるかもしれません。ただ「ファスト映画」や「ファスト教養」が多くの学生を獲得する昨今，どれだけの学生が分厚い伝記を手に取るでしょうか。むしろ百問百答の形式で簡潔明瞭に様々な問題を纏める方が，きっと楽しくシェイクスピアを学べるはずです。そう言えばシェイクスピアも言っています―― Those that do teach young babes do it with gentle means and easy tasks. (*Othello*, 4. 2)

（慶應義塾大学教授　**井出新**）

質の高い探究と教員の負担軽減へ

探究学習の課題は“アクチュアル”が解決します。

大修館 探究オンライン
ACTUAL アクチュアル
—探究を真に実りある「自分ごと」とするために—

こんなことでお悩みなら、
＼“アクチュアル”にお任せください／

総合探究の授業に自信が持てない
お任せください
“アクチュアル”の収録教材は探究の経験豊かな高校教員を中心に作成。探究のポイントを抑えた教材が、質の高い探究をお約束します。

総合探究の授業運営は手間がかかりすぎる
お任せください
“アクチュアル”には、すぐに授業が始められ、生徒が自走できる教材が揃っています。探究担当だけでなく先生方全員の負担を軽減します。

ICTツールが多すぎて使いこなせない
お任せください
“アクチュアル”の教材は、Googleクラスルームなど他のICTツールでも利用が可能。使い慣れたツールで、探究の授業を行えます。

教材例

指導案付きの導入用教材から、生徒の悩みや疑問を解決する副読本型教材まで、先生の負担を軽減する教材を多数収録しています。

最新情報はこちらでチェック▶
https://lp.actual.quest/

◀デモアカウントお申込受付中
https://forms.gle/qY2MwdmbGwSk1cvr5

開発運営 大修館書店 デジタル事業開発部 TEL: 03-3868-2603 inquiry_dr@taishukan.co.jp

販売総代理店 紀伊國屋書店 学校教育営業部 TEL: 03-5719-2501 school@kinokuniya.co.jp

大修館書店

大修館英語通信 What's New!
2024年4月15日発行　第7号

編集人：『大修館英語通信 What's New!』編集部
発行人：鈴木一行
発行所：株式会社　大修館書店
〒113-8541　東京都文京区湯島2-1-1
電話(03)3868-2292(編集部) ／ (03)3868-2651(営業部)
［出版情報URL］https://www.taishukan.co.jp
［振替］00190-7-40504

表紙・本文デザイン：ＣＣＫ
表紙イラスト：オザワミカ
印刷・製本：文唱堂印刷株式会社

Ⓡ本誌のコピー，スキャン，デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化をすることは，たとえ個人や家庭内での利用であっても著作権法上認められておりません。

〒113-8541 東京都文京区湯島2-1-1 (株)大修館書店